

大宮医療センター だより



発行 自治医科大学大宮医療センター
医事課
住所 〒330-8503
さいたま市大宮区天沼町1-847
電話 048-647-2111
FAX 048-647-5180
URL <http://www.jichi.ac.jp>

トピックス

当センターでは、「大宮医療センターの理念」及び「大宮医療センターの基本方針」を策定し、既に「大宮医療センターだより」創刊号（7月）にてお知らせしたところですが、新たに、これら「理念」、「基本方針」に基づき、「患者の権利について」並びに「患者の皆様へのお願い」を定めましたのでお知らせいたします。

●「患者の権利について」●

医療は、患者の皆様と医療機関の十分な信頼関係で成り立っております。

当センターでは、医療従事者の良心に従って最善を尽くすとともに、センターの理念・基本方針に基づき、以下の患者の皆様を尊重します。

- 個人の人権が尊重され、安全で質の高い医療を平等に受ける権利があります。
- 病気や診療、看護について、わかりやすい言葉や方法で情報提供を受ける権利があります。
- 十分情報提供を受けた上で、ご自分の希望や意見を述べることで、治療方法などを自らの意志で選ぶ権利があります。
- 診療の過程で得られた個人情報、常に守られる権利があります。

●「患者の皆様へのお願い」●

安全で質の高い医療を提供するためには、患者の皆様とのより良いパートナーシップと、皆様の医療への参加が必要と考えております。

以下の事柄を十分ご理解いただき、ご協力をお願いします。

- ご自身の健康に関することをできるだけ詳しくお話しください。
- 診療等について説明を受けてもよく理解できない場合は、遠慮なくお尋ねください。
- 療養中または治療中に不安を感じたら、直ちにお知らせください。
- 他の患者の迷惑にならないよう、ご配慮をお願いします。
- 当センターは、地域の中核病院としての役割を果たすため、センターでの治療が終了した方には、お近くの医療機関を紹介させていただくことがあります。より多くの方々が必要な医療を受けられますよう、ご協力をお願いします。

なお、当センターは、明日の医療を担う人材を育成するための教育・研究機関でもあります。ご理解とご協力を併せてお願い致します。

ご理解願います

◇ 院内での携帯電話の使用は禁止としています

当センターに受診の患者さんは循環器疾患の患者さんが多く、入院患者さんについては408床のうち約25%（100床）、外来患者さんについては1,000人/日の約30%（300人）の方が当該患者さんです。

循環器疾患の患者さん方は、高度の電子医療機器を必要とし、生命維持用の医用電子機器を装着し病棟や通路を移動している患者さんも多くおられます。

このため、少しでもリスクのあるもの（一般携帯電話の医療機器への障害発生率は37%と言われています。）については、患者さんの生命の安全を第一と考え、安全性に確信が持てない限り排除（使用禁止）することとしております。

一方、センター内で医療関係者が使用している携帯電話（PHS）は、医療現場の緊急用として、送信電力は一般携帯電話（500mW）の約1/50（10mW）以下であり、一般家庭電話の無線子機や電子レンジよりも低出力のものです。このように院内での使用にあたっては十分な注意を払っております。

なお、センター内には、ご不便を来さないよう公衆電話を数多く設置しておりますので、院内では公衆電話をご利用願います。

投書 平成16年8月19日 読売新聞

病院内では必ず「携帯」をオフに

主編 30 (福島市)

生後間もない息子が、重度の心臓病のため手術を受けました。術後は集中治療室に入り、心臓の動きはペースメーカーで管理されている状態でした。室内にはそのほかにも、なくさんの精密機器が並んでいま

控室で面会時間待の間、携帯電話を使う人の多さに驚きました。院内には「使用禁止」の張り紙がなくさんしてあり、気づかないということがないと思うのですが、当たり前のように使う人が自立つので

そうした人を見かけるたびに、電源を切ってもらうよう頼みましたが、マネーモードに切り替えるだけの人や、「使っています」と返答する人もいます。使っていないでも電源が入ったままでは同じことです。中には、親子そろって使用

している家族もありました。自分の家族も治療を受けているはずなのに

携帯電話の使用が医療機器の誤作動に必ずつながる、というわけではないでしょうが、その可能性は少なからずあるのです。使っている人は軽い気持ちなのかも知れませんが、病院内には、精密機器に囲まれて命をつないでいる患者が大勢いることを分かって下さい。

投書 平成16年8月24日 読売新聞

メリット大きい「携帯オフ車両」

社員 32 (東京都大田区)

「優先席近くでは『携帯』を切って」（12日）を読みました。大阪から東京に転勤して一か月になりましたが、東京では、優先席付近でも携帯電話の電源を切らない人が自立つような気がします。

大阪の阪急電車では、「電源オフ車両」を導入しており、その車両では多くの乗

客が意識して電源を切っているようでした。車内では「電源オフ」を促すアナウンスが流れるほか、注意喚起のシールもあちこちに張っており、私もその車両に乗る時は、電源を切る習慣が身につきました。

優先席近くでも電源を切らない人が多いのは、「優先席付近」という表現があまりいまだからではないでしょうか。また、電源の入った携帯電話がペースメーカーに悪影響を及ぼす可能性については、世間一般にあまり知られていないことも原因の一つだと感じます。

高齢化社会の進展につれ、ペースメーカーを装着せざるを得ない人は、ますます増えるでしょう。鉄道各社は、周知に努力すべきですし、マスコミも問題をもち取り上げるべきだと思います。

命にかかわるという観点からすれば、「女性専用車両」よりも、「電源オフ車両」の導入の方が優先度は高いように思います。

◇ 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関をご利用ください

当センターは、通称「見沼たんぼ」といわれる自然環境保護地域に位置しており、施設等の整備には多くの制限を受けていることから、新たに駐車場を設置することは困難な状況にあります。

このようなことから、患者様のご来院時の利便性を図るため、バス会社に対して増便の陳情を重ねているところです。

以上の事情をご理解のうえ、来院に際しましては可能な範囲で公共交通機関をご利用願います。

[バス時刻表は「初再診受付」及び「東出入口・警備本部」にあります。]

ご存知ですか

◇ センター教職員の名札について

教職員の職種は「自治医科大学の文字」の背景色で区分しています。

	文字背景色	職 種
	青 色 (あお)	教員・医員
	桃 色 (ピンク)	看護職員
	黄緑色 (うぐいす)	医療技術職員
	深緑色 (みどり)	事務職員
	赤 色 (あか)	委託職員
	黄 色 (き)	学生

◇ 院外処方箋の発行について

当センターでは院内処方を原則としておりますが、お薬を待つ時間がない等の事情で患者様が希望された場合は院外処方箋を発行いたします。

担当医師に申し出ください。

お知らせ (小耳情報)

◇ 外来者用トイレが新設されました!!

このたび、正面玄関を入った左側のトイレを閉鎖し、向かい側に外来者用トイレを新設いたしました。これまでの狭い、少ないなどのご不便は解消できたことと思います。是非ご利用ください。

◇ 10月は医療安全推進月間です!!

当センターでは、10月1日から31日迄の間、「皆で築こう安全文化!」をスローガンに、全職員が名札にステッカーを貼付して、医療事故を未然に防ぐための啓蒙運動を行なっています。

なお、このステッカー(右図案)は全職員に公募した作品から最優秀に選ばれたものです。



◇ 総合案内をご利用ください!!

センター玄関入ると正面に総合案内として、看護師長が輪番で担当しています。ご不明なことはお尋ねください。



センターからのお願い

◇ 間違い電話にご注意を!!

最近、患者さんからの間違い電話がかかるとの苦情が多く寄せられています。電話によるお問合わせの時は、当センターの電話番号をご確認下さるようお願いいたします。

- ・大宮医療センター 電話番号 048(647)2111(代表)
- ・予約等の変更時(14:00~16:00) 電話番号 048(647)4898

◇ 受診には健康保険証のご提示を!!

毎月初めの受診の際は、必ず、健康保険証のご提示をお願いします。

ご提示がなく健康保険証の確認ができない場合は、保険請求が出来なくなることがあり、原則として、当該日の診療費は自費診療扱いとなります。